

会報 ふれあい

第139号

平成23年8月1日

発行 せきがやふれあいの会

電話相談・簡単修理は、月曜～土曜(午前)自治会館にお電話下さい(TEL784-4447)。主に高齢者向けです。

車イスでも、ベビーカーでも、サークルヨイヨイ!
ご近所みんなで踊りましょう!

節電の夏もたけなわ、いかがお過ごしいらっしゃいますか? 関ヶ谷は緑が多いせいか暑さもすこし爽やかで、よそから帰ってくるとほっとしますね。

夏と言えば納涼会、納涼会と言えば盆踊り。車イスの方も、ベビーカーのお子様もぜひ一緒に、輪の中に入って踊りましょう! 今年は時間を早めて明るい内から行われるので、特に踊り易いと思います。前後の間を広めに取って、みんなで楽しく踊りましょう! 近くで踊る皆様のご協力もよろしくお願ひいたします。

ふれあいの会では、車イスで納涼会にいらっしゃる方のご家族と一緒に、会場までの送迎のお手伝いをいたします。踊っても踊らなくても、夏の夕べの賑わいを気軽に楽しんでください。上記の電話相談または民生委員に、前日までにお申し込みください。(富田)

納涼大会を楽しもう!

ふれあいの模擬店に来てね!!

ふれあい本舗

ラムネ
…
100円

ちらし寿司
…
100円

支柱立て
ロープ張り
模擬店提灯
音響操作
やっています!!

ちびっ子集まれ!
参加賞あります!
5時20分~

八月十三日(土)
草舞台公園
5時

ふれあいの会の催しは、歩く会を除き、いつでも送迎可能です。気軽にお申込み下さい。

納涼大会(8月13日(土)) 5:20より草舞台公園

今年も納涼大会で「ちびっ子集まれ」を行います。

お遊戯のあとで、参加賞があります。幼稚園児以下の子さんたち、お父さんやお母さんたちと一緒に集まりください。



8月の「ちびっ子集まれ」

8月26日(金)、10:00～11:30 自治会館会議室

同郷の集い



今回の岩手、宮城、福島の三県合同同郷の集い(7月23日)に山形県出身の大川自治会長の飛び入り参加、防災ボランティアグループ立ち上げ中の小西さんら15名の方々の出席の下に行われた。更に宮城県出身の方の手作りの美味しいずんだ餅(枝豆を漬してペースト状にしたもの)に舌鼓をうちながらの集いでした。まず、各人の自己紹介、親類縁者の被災状況の話し合いの中で、被災地で喜ばれる支援の仕方が見えてきたような気がしました。

次に、最近“三浦半島の活断層を震源とする地震”がクローズアップされている事から、防震対策や被災時に備えての準備等について、活発な意見交換がなされた。最後に、被災地の地元新聞社作成のDVDによっての“大津波による生死を分けた2つの小学校の対応”が印象深かった。出席者全員で一日も早い岩手・宮城・福島の復興を祈って、会を閉じた。 高橋

「ふれあいティータイム(懐かしの映画上映会)に参加して」



私は昨年関ヶ谷に転居してきました。

今回はティータイムの映画会に初めての参加ですが、上映された映画は「二十四の瞳」でした。以前一度観た事はあるのですが、今回改めて見て何と素晴らしい映画であったな・・・と思いました。世の中が戦争へと向かう中で、平和への思いを戦争への怒り、悲しみを高峰秀子さんが静かな中に見事に表現していた。子どもたちも音楽も素晴らしかった。 高治

ワンポイントレッスン

蒸し暑い日が続いています。ペットボトル飲料の消費も多い事と思います。

空いたペットボトルをそのまま捨ててしまうのは、もったいないので、有効利用いたしましょう!

空きボトルは色々な保存に便利で、有効です。例えば米の保存、米を購入したら、

空きボトルに移し替えます。100円ショップに漏斗が売っていますので、

それを使えば簡単です。5キロの米は、2Lのペットボトル2本半に収まります。

きちんと蓋をしておけば虫はつきませんし、味の劣化も防げます。

さらにそれを冷蔵庫に入れて保存すれば完璧です。使う時も便利です。

その他に、化成肥料や苦土石灰などの肥料類の保存にも有効です。

お試しください。

ペットボトルの利用!



想い出の地

丸餅の故郷、山形庄内



鳥海山(生家付近より)

鮭は戻る川を匂いで記憶しているらしい。故郷を離れて約五十年。鮭とは違い匂いの記憶も薄れた。しかし改めて故郷の良さに気がつく。

ふるさと庄内は東北地方の他の土地とは文化が異なる。雑煮の餅の形は西日本が丸、東日本が角と言われるが庄内地方は丸である。丸でも角でも食欲に影響ないが何故か違う。また歌舞伎、能など多くの古典芸能が引き継がれている。農民が庄内訛りで舞う姿は味がある。約三百年前につくられた享保縄なども多く残されている。

港町酒田の繁栄を今に伝える山居倉庫、本間旧家

それに井原西鶴の日本永代蔵にも描かれた酒田三十六人衆の一人の廻船問屋「鑑屋」がある。又この地には神秘さもある。羽黒山、湯殿山、月山からなる雲峰出羽三山である。日本に約二十体あると言われるミイラのうち十体が湯殿山を信仰し自ら即身仏になったといわれる。

歴史、文化が培われた背景は平安時代まで遡るらしい。平安末期、藤原清衡が平泉と京都を結ぶ玄関口として酒田湊を開いた。上方や朝鮮半島から仏教美術品を廻船で酒田湊に運び、最上川を舟でのぼり陸路で平泉に向かったという。世界遺産に貢献したかと思うと嬉しい。江戸時代は山形の特産の紅花、米などが上方に流通し、北前船の中継地として栄えていった。酒田三十六人衆は日本の自由都市発祥の地といわれた堺の商人、会合衆をモデルにしたらしい。

今でも庄内地方には神秘さと他の良さを受け入れる自由、そして似つかわしくない美が存在する。テレビ小説「おしん」のモデルになった土地ではあるが実態は雪深い暗いイメージとちょっと違う。

庄内地方出身には文化人が多い。渡部昇一、丸谷才一、藤沢周平、写真家の土門拳などである。映画「おくりびと」の撮影もこの地で行われ、庄内映画村を作り撮影している。クラゲ展示数世界一の水族館もある。無形なものに価値を求める文化なのだ。なでしこジャパンの監督も山形の出身である。

鼻水を垂らし、日暮れになっても泥まみれになって走り回った故郷の野山も変わっただろうな。最上川を遡る鮭に、故郷をどの様に感じ、どんな匂いなのか一度聞いてみたいものである。 大川



筆者二十歳頃

サークル立ち上げ

サークル立ち上げのお手伝いをします

関ヶ谷には既に色々なサークルがあります。まだまだ皆様の趣味は広く、色々なサークルがあれば、この地域の人のネットワークがより広がると思います。ふれあいの会は、これまで、山好会(登山)、絵手紙、五行歌、菊作りの会、ゴルフなどのサークルの立ち上げをお手伝いしました。新たなサークルを立ち上げたい方はご相談下さい。

1.「会報ふれあい」に参加募集記事を載せます。

2.最初の会場設定、会議の進行などのお手伝いをいたします。



縁道さんぽ

蓋を求めてウロウロ



約110市町村、23都道府県。

私がコレクション中の「マンホールの蓋」のデータです。北は帯広から南は熊本まで23都道府県、約110市町村(種類)のマンホールの蓋です。

2年ほど前、妻から「マンホールの蓋(以下、蓋)ってなんだかおもしろそだよ」と言われ、家の前の蓋を見たのが始まりです。その蓋は、横浜市全域に使われていて、デザインされているのは、市の名所である「ベイブリッジ、みなとみらい地区のビル群とカモメ」です。

こうした市町村の名所旧跡、花、木、鳥、あるいは名物などを絵にした蓋を「デザイン蓋」といいます。デザイン蓋は、実に多種多彩で見ているだけで、地域のことが伺い知ることができ、地域の自慢というか、一押しが分かります。

コレクション前は、蓋を気にしたことは、まったくありませんでしたが、今では行く先々で風景よりも先に蓋に目が行ってしまうほど、熱中しています。なもんで、外出時にはデジカメを机身離さず持ち歩いています。綺麗な蓋を撮るために、ハンディ掃除機と雑巾を持ち歩きたいぐらいです。

歩く会のバス旅行では、車窓から富士山綺麗だね~、と風景を見つめることは、心の中で「運転手さんここで止まって!」と叫んでいます。仕事で地方に行った時などは、駅に降りると真っ先に周辺を、蓋を求めてウロウロ。何時ぞやは、不審者に見えたのか、警察官に職務質問をされたこともあります。

蓋は多種多様。雨水用と污水用の2種類が代表的な蓋です。他に消火栓、仕切弁、空気弁、電話・電気線、排水溝などがあります。デザインが一緒でも無色蓋と、カラー蓋がありました。例えば、熊本市は4種類(肥後椿の柄の無色1種類、カラー2種類、銀杏の柄のカラー1種類)もあり、今まで最高でした。同市は、仕切弁の蓋も凝っていて、肥後六花の中の「肥後朝顔」のカラー蓋で、とても印象的でした。変わった蓋では、埼玉県の越生町の木「梅」、毛呂山町(もろやま)の花「菊」、そして鳩山町の花「躑躅(ツツジ)」の「三町共同」で製作された蓋です。

お金のかからない唯一の趣味であり、体が動く限り一枚でも多くコレクションしたいと思っています。

山本



熊本市の肥後椿のカラー2種類と銀杏



肥後朝顔



三町共同製作

編集後記

「看取り期です」と宣告された父を見舞ってきました。

私の腕のように細くなったり足をさすりながら、遠くに離れ住んでいる今、私に出来る事はこれくらいだと、「もういいよ」と言うまでさすり続けました。ただ、見舞いに来た日をカレンダーに書き込むようにと言われ、姉の名前がある下に書いた時、まだまだ元気なのだと、思わず苦笑していました。(野々山)

